



寺津小学校

「ふるさと寺津」を創造する「寺津っ子」の育成

＜テーマの説明＞

私たちは、知・徳・体の調和のとれた人間形成を図るとともに、「ふるさと寺津」に誇りを持ち、自分の未来を切り拓いていく児童の育成を目指していきます。

そのために学校・家庭・地域との連携・協働を進め、「ふるさと寺津」を創造する「寺津っ子」を育てることを目標に教育活動を進めていきます。

その中で、よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという「社会に開かれた教育課程」の実現を目指します。

《目指す子供の姿》 ※合言葉として、「自律」

- ・ 「ふるさと寺津」に愛着をもち、「寺津のひと・もの・こと」に、はたらきかける子供
- ・ 自らの課題に気づき、友達とのかかわりを通じて「学びを深める」子供

《重点努力目標》 ※合言葉として、「ティーチングからコーチングへ」

「自主」はたし算、「協同」はかけ算 を合言葉に、全職員で教育活動を推進します。

1 「主体的で対話的で探求的な学び」を進めます。

主体的とは：興味・関心を広げチャレンジする

対話的とは：多様なものの見方、考え方を理解し、共有する

探求的とは：活用し、次の学習につなげ、役立てる

- ・ 子供の思い・考えを大切に「子供自身が問題解決に取り組める単元」の構想
- ・ 寺津のひと・もの・ことを活かした「ふるさと単元(地域を学ぶ学習・地域で学ぶ学習)」の展開
- ・ 目的を明確にした、子供の「心」に響く学校行事の充実(運動会、学習発表会等)

2 「家庭・地域との連携・協働」を進めます。

- ・ 地域の社会教育関係団体と「育てたい子供の姿」を共通理解した活動の推進
※「寺津っ子学習クラブ」、「寺津校区登校見守り隊」、「コミュニティカレンダー発行」等の活動推進
- ・ PTAと連携し、学校支援・家庭教育力の向上を目指した取組の充実(PTA活動の精選)
- ・ 学校評価や保護者との関係づくりを通して、学校教育への理解促進・協力体制の構築

3 「学校における働き方改革」を進めます。

- ・ 「愛知県教員育成指標」を基にした教員一人一人の目標の明確化
- ・ 「チームとしての学校」の取組の推進
- ・ 地域との連携を重視・強化するための、学校が担う業務の明確化・適正化

学校・家庭・地域との連携・協働

「ふるさと寺津」を創造する「寺津っ子」の育成

寺津小学校では、子供の思い・考えを大切に「子供自身が問題解決に取り組める単元」と、寺津のひと・もの・ことを活かした「ふるさと単元(地域を学ぶ学習・地域で学ぶ学習)」の取り組みに力を入れています。

2つの取り組みから以下に示す子供の姿を目指しています。

- ・「ふるさと寺津」に愛着をもち、「寺津のひと・もの・こと」に、働きかける子供
- ・自分の問題を発見し、友達とのかかわりを通じて「学びを深める」子供

<令和4年度 各学年の活動の様子>

<1年生>



「オータムフェスタ～あきまつり～」

木の実を使ったおもちゃを中心に、いろいろなお店を考えました。オータムフェスタには、たくさんのお兄さん、お姉さんが来てくれて、盛り上がりました。

<きらめき>



「季節のあそびをたのしもう！」

自分で作ったマントやお面で仮装をしてハロウィンパーティーを行いました。お店屋さん役とお客さん役に分かれ、ゲームや工作を楽しみました。

<2年生>



「やさい先生とそだてたよ、やさいの大しゅうかく！」

地域の先生にご協力いただき、夏野菜と冬野菜を育てました。野菜が成長する様子を観察したり、獲れた野菜を嬉しそうに持ち帰ったりしました。

<3年生>



「寺津のじまん発見隊！ぼくたちの町を大ぼうけん」

校区を探検し、寺津に昔からある工場やお店など、自慢の場所をたくさん発見しました。授業参観では、保護者の方に発表しました。

<4年生>



「ぼくたち寺津の防災広め隊」

自然災害から身を守るため、防災について体験を交えながら学習しました。そして、災害の怖さやその対策について調べたことを保護者の方に発表しました。

<5年生>



「寺津の町のお米作り」

農家の渡辺重利さん、森田信一さんをはじめ、長寿会やJAの方々の協力をいただき、田植えや稲刈りなどお米作りの体験に取り組みました。

<6年生>



「版画に残そう！『ふるさと寺津』」

近所の神社、よく釣りに行く港、好きな風景など、寺津地区の好きな風景を版画にしました。iPadで撮影した写真をもとに制作しました。